

## 原料費調整制度に基づく都市ガス料金単価の調整について ( 2016年10月 検針分 )

2016年5月～2016年7月のLNG及びLPGの貿易統計値が発表されました。  
原料費調整制度に基づき、基準単位料金を調整させていただきます。

2016年10月 検針分の単位料金は 2016年9月 検針分 に比べて、1m<sup>3</sup>(45MJ)当り  
▲ 0.63 円(消費税込)、標準家庭(26m<sup>3</sup>)では月額 ▲ 16 円の調整を行うこととなりました。

### ●一般ガス供給約款料金における調整単位料金

(消費税込)

	単位	2016年9月 (A)	2016年10月 (B)	(B)-(A)
A料金表 (0m <sup>3</sup> ～24m <sup>3</sup> )	円/m <sup>3</sup>	208.16	207.53	▲ 0.63
B料金表 (24m <sup>3</sup> を超える)	円/m <sup>3</sup>	150.17	149.54	▲ 0.63

### ●平均原料価格

	単位	2016年4月 ～ 2016年6月	2016年5月 ～ 2016年7月	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	34,170	33,420	
LPG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	39,250	38,800	
平均原料価格	円/トン	34,570	33,830	46,100

平均原料価格=LNG平均価格×0.9541+LPG平均価格×0.0502

(10円未満端数四捨五入)

※平均原料価格が73,760円以上となった場合は73,760円

原料価格変動額 = 基準平均原料価格 - 平均原料価格 (平均原料価格が基準平均原料価格未満のとき)  
= 46,100 - 33,830 = 12,200 円/トン

(100円未満端数切捨て)

### ●調整単位料金の算定

平均原料価格が基準平均原料価格未満のとき

調整単位料金 = 基準単位料金 - 0.084×原料価格変動額÷100円×(1+消費税率) (小数点第3位以下の端数切捨て)

	単位	(A) 基準単位料金	(B) 2016年10月 検針分 調整単位料金	調整額 (B)-(A)
A料金表 (0m <sup>3</sup> ～24m <sup>3</sup> )	円/m <sup>3</sup>	218.60	207.53	▲ 11.07
B料金表 (24m <sup>3</sup> を超える)	円/m <sup>3</sup>	160.61	149.54	▲ 11.07

### ●標準家庭のご使用例(1ヶ月分)

1ヶ月分使用量(m <sup>3</sup> )	(A) 2016年9月	(B) 2016年10月	影響額 (B)-(A)
26	6,035	6,019	▲ 16

計算式・・・基本料金(税込)+調整単位料金(税込)×使用量 (1円未満の端数は切り捨て)